

—令和4年度の特別項目— (全道大会、地区大会のためのガイドライン)

【基本的な考え方】

- ・各地区の運営は感染状況に応じて対応していただいてもよいが、全道大会では関係地域が多くなるため以下の項目を順守する。
- ・安全を優先して大会運営を行う。(安全を確保できない場合は中止する。)
- ・練習時から、必要以外の3密(密閉、密集、密接)を避けるとともに、マスクの常時着用や声を出さないなど特に飛沫の飛散に留意し、感染予防行動を徹底する。
- ・19日朝に競技場及び休憩室に入る際にすべての関係者は検温と体調チェック表を提出していただきます。発熱、下痢、嘔吐等の風邪症状がある方は会場に入場できません。

【運営】

- ・開閉会式を簡略化し、審判の配置により返し札をできるだけ減らすなどして、大会の時間短縮に努める。
- ・感染者が発生した場合に備え、当日来場する選手、監督、応援、審判、運営者等の名簿(連絡先を含む)及び会場図を作成する。
- ・参加者、審判、運営関係者及び同居家族に発熱等風邪症状がみられる場合は、大会参加を認めない。
- ・【全道子ども大会】敗者復活戦は行わない。その後の見学も感染対策の一環として不可とする。

【会場】

- ・換気の整った部屋を使用することを原則とし、設備の整っていない場合は2箇所の窓を開けるなど、密閉を避ける。
- ・密集を避けるため、選手と応援者、応援者(団体)同士の互いの距離を最低1m程度確保するよう努力する。
- ・会場内の人数が密にならないように検討する。

【選手】

- ・大会の7日前から、感染症に十分注意し、発熱等風邪症状の有無を記録する。(チェック表提出のこと)
- ・大会当日、本人及び同居家族等に発熱等の症状がみられる場合は参加を認めない。(監督、応援者も同様)
- ・会場内では、常時不織布マスクを着用し鼻を覆うこと。トイレや食事の前後など小まめに手洗いを行う。
- ・試合前に手指消毒(アルコール除菌)を行うこと。アルコールでの消毒が出来ない場合は、手袋を着用して消毒しそのまま参加すること。

【応援】

- ・応援が密集にならないよう、1m程度の距離を確保するよう努める。1m程度の距離を確保できない場合は、会場の応援者人数を制限するなど十分検討する。
- ・【全道子ども大会】会場内に同時入場できる応援者は、1チーム3人までとする。
- ・応援は見守ることを基本とし、大声による声援、鳴り物は認めない。

【競技】

- ・試合の前後にアルコールによる手指消毒を行う。
- ・常時マスクを着用し、発声を控える。特に、「畳やひざを叩く」、「かけ声」は一切禁止とする。
- ・札読みに入るまで、出来るだけ相手との距離を取り、手や頭を下段の仕切り線より前に乗り出さない。
- ・札を取った時の発声は大声を出さない。また、取った後の「ほう」行為は行わない。
- ・札送りの際の相談、審判への申告等、小さな声での最小限の会話のみ認める。
- ・禁止行為を見かけた場合は審判や運営者が注意し、繰り返される場合は退場などの処分を行う。
- ・競技中の水分補給は認めるが、各自で飲み物を用意することとし、回し飲みはしない。
- ・協議中の発熱等の体調不良者が確認された場合はその場所の対戦を中止し、それ以降の継続について中止も含めて運営者で協議して判定する。

【読み手・審判】

- ・読み手がマスクを外して読み上げる場合は、パーティション等を設置し飛沫の飛散を防止するとともに、他の運営者や選手等から2 m以上の距離をとる。
- ・読み手が代わるごとに使用したマイクや机などの消毒を行う。
- ・読み手ごとに読み札を用意し、複数人での使い回しをしない。
- ・【全道子ども大会】読み札は複数個用意し、使用後は消毒する。
- ・審判が使用する旗については、アルコールで消毒を行う。
- ・審判章等については、個別に配付し、使い回さない。
- ・記録表、ペンなどの消毒も行う。

【食事・休憩】

- ・互いの距離をとった黙食を徹底し、食べているとき以外はマスクを着用する。
- ・食事は個別に用意し、大皿での取り分けは極力避ける。
- ・大人の方は夕食時の飲酒により声が大きくなることが考えられるが、子どもの大会の関係者として、黙食にご協力いただきたい。
- ・休憩時も1 m程度の距離を確保し、会話する際は必ずマスクを着用する。